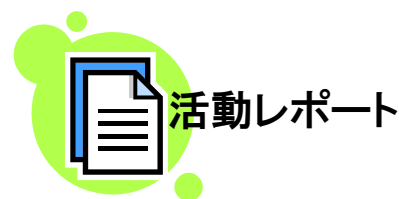


2025年度事業報告(案)



①福祉相談事業

困りごと相談 (自主事業)

活動の想い

安心して暮らせる地域を作りたい！

直接の成果

悩みや困りごとを抱えた人が相談をする。

短期成果

必要な時に相談できる関係ができる。

長期成果

問題解決へ向け、自ら行動が起こせるようになる。

【担当責任者】 法人全体

【活動概要】

暮らしにかかわる相談を法人全体として相談者の気持ちに寄り添う傾聴を中心に実施する。必要により関係機関への紹介を行います。

【活動実績・得られた成果】

ケアマネ・障害者相談支援を中心に法人全体で行う困りごとへの相談を業務として行いました。町内に相談支援体制が整ってきていることから必要に応じて専門相談窓口への対応も行いました。また、ゆめ市も活用し困りごとを気軽に相談できるできるよう配慮も行っています。

困ったときに気軽に相談できる場や機会、日頃からの関係づくり。

②高齢者・障害者に対する地域生活支援サービス事業

タイムケア事業 (自主事業)

直接の成果

スタッフが生活の援助を始める。

短期成果

生活の連続性が保たれたり、やりたいことができ始める。

長期成果

必要な時に支援や手助けを受けながら自分らしい生活が継続している。

【活動概要】

介護保険対象者および障害福祉サービス対象者に対し、制度のルール等の理由で対応できない部分に柔軟に対応する事業です。

【活動実績・得られた成果】

必要に応じ、既存の福祉制度で対応できないケースについて臨機応変に対応を行いました。

分かち合い事業 (自主事業)

直接の成果

住民スタッフが生活のお手伝いを始める。

短期成果

生活の中の困り事が改善し始める。

長期成果

必要な時に支援や手助けを受けながら自分らしい生活が継続している。

【活動概要】

介護以外のちょっとしたお手伝いについて、住民同士の助け合いで柔軟に対応する事業です。

【活動実績・得られた成果】

法人内の事業効率化として、分かち合い事業でひるじろう（就労継続支援B型）に社用車の洗車、花壇整備、草取り、フードバンクの食品運搬などの業務の依頼を行い、ひるじろうの利用者さんへの工賃として協力費をお支払いしました。

③相談ケアマネジメント事業

ゆめじろう居宅介護支援事業所

(介護保険居宅介護支援事業)

活動の想い

見慣れた風景や環境の中、その人らしい暮らしができることを応援していきたい

対象

町内在住(近隣町を含む)
高齢者と家族

直接(～1か月)の結果

生活や介護に関する困りごとや、暮らしにくさに対して、サービスの利用や暮らし方について相談できる。

短期(～3か月)の成果

問題解決のための取り組みや、サービス利用が始まる。相談内容に合った機関との関係づくりが始まる。

中期(～1年)の成果

問題解決のための取り組みや、サービス利用が始まる。相談内容に合った機関とつながっている。

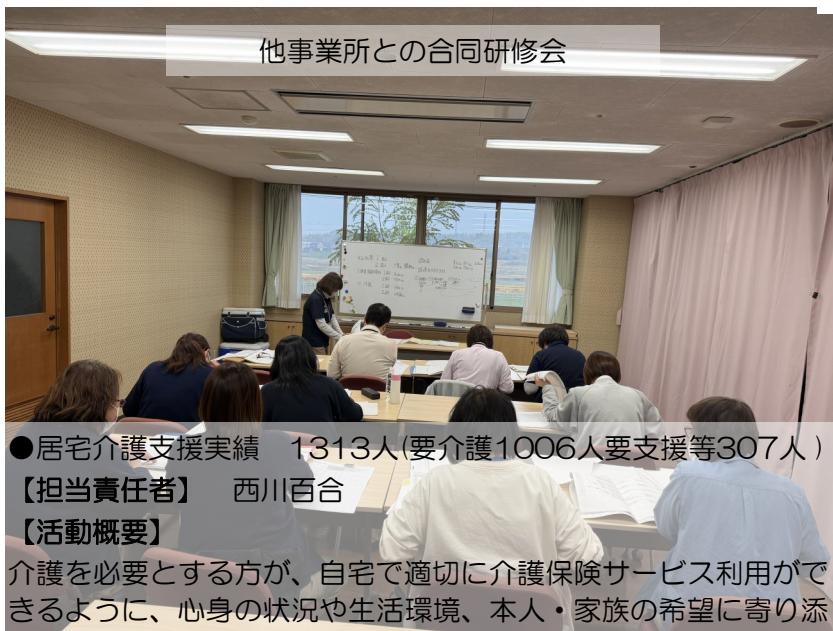
長期(～3年)の成果

自分らしい生活が支援を受けながら継続し、ひとりではないと感じながら生活ができる。

ゆめじろうのミッション

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続けられる。

他事業所との合同研修会



●居宅介護支援実績 1313人(要介護1006人 要支援等307人)

【担当責任者】 西川百合

【活動概要】

介護を必要とする方が、自宅で適切に介護保険サービス利用ができるように、心身の状況や生活環境、本人・家族の希望に寄り添い、その人らしい生活ができるようにケアプランの作成やサービス調整を行います。暮らしにくさなどの相談の場合には、介護保険制度や他機関の案内や提案を行っています。

【2025年度活動目標】

昨年度の協働の継続や、新たに第10期武豊町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定委員を務めることが決まっています。地域課題を見出し、解決に向けた一助となるように、それぞれの活動継続をしていきます。また、今年度新たに2名のケアマネジャーを迎え7名体制となります。今後変わりゆく生活スタイルに合った、働きやすい勤務形態の考察や、担い手確保のための土台作りをし、引き続き離職者ゼロを目指し、特定事業所加算の継続ができる一年とします。

【活動内容・得られた成果】

生産性向上を目的に、介護データ連携システムの稼働、クラウドノートを使用した会議録の作成、パソコンを新たに一台増やし必要な時にいつでも使用できるようにし、業務効率を上げる取り組みができました。一昨年より以前には、ひとり一台のタブレット端末や携帯の所持などを通し、リアルタイムで連絡を取り合うことも継続的に行ってきました。生産性を上げ効率化して出来た時間を「一人でも多くの利用者に質の高いケアを届ける」という地盤づくりができた一年でした。得意な人が苦手な人に伝え、マニュアルを作成し誰でも同じ作業ができる工夫により、ひとりひとりがそれぞれの利用者を担当する中でも週1回の定期会議などを通して学び合い励まし合って、前に進む力をもちながら過ごした一年でした。



「困った時のゆめじろうにつながり、安心して暮らしを応援します。」

ゆめじろう相談支援事業業所

（障害者総合支援法）知多南部基幹相談支援センター（基幹）、一般相談支援事業、
特定相談支援事業、（児童福祉法）障害児相談支援事業

R4.1~



基幹相談支援センターとして相談だけでなく地域づくりも行います！

活動の想い

障害のある人と家族が安心して暮らせる社会や地域を作りたい！

対象

武豊町・美浜町・南知多町
在住の障害者と家族

活動内容

障害児・者の生活・サービスに関する相談援助。地域自立支援協議会の運営。

直接の結果（～1か月）

相談を行い、必要な情報が得られたり、サービス利用が始まる。

短期の成果（～3か月）

必要に応じ相談ができ、生活が安定しはじめる。

中期期の成果（～1年）

新たな課題が出てきても、相談することで安心できる。

長期（～3年）の成果

住民の障害理解が深まり、サービス以外の資源を活用しながら自分らしい生活ができる。

ゆめじろうのミッション

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続ける社会の実現。



笑顔あふれる相談チーム

【利用人数】

相談実績：6336件／年間（前年度13245件）

【担当責任者】 出口 晋

【活動概要】

武豊町・美浜町・南知多町に住む障害がある人の生活に関わる相談を3町から委託を受け行っているほか、地域自立支援協議会の事務局を行っています。また、福祉サービス利用のための計画作成も行っています。

【2025年度の目標】

わっばると共同体制を継続しつつ、機能強化型1事業所として事業収入を確保するだけでなく協力して相談支援体制強化を図ります。また、相談支援事業所連絡会を活用し新規事業者の参入や相談支援専門員の相談技術向上を行っていきます。個別避難計画の作成と通じて来る南海トラフ地震に備えを進めていきます。

【活動実績・得られた成果】

令和7年度は業務全般の見直しを行いました。ゴールを設定した会議運営をすることで結果を出すだけでなく時間短縮にもつながりました。これまで多くの時間を使って作成していた会議の議事録作成の時短縮の為、AIレコーダーの導入も行いました。重複業務を割り出し、本来必要な相談業務に時間を充てられる時間を捻出しました。事務局を務める地域自立支援協議会においても、参加者全員が意見を出せるよう積極的にグループワークの活用も行いました。

町内に新しくできた相談事業所へもケースを移したり、新規ケースを受けてもらえるよう同行支援を行いました。

結果として、これまで積極的に新規ケースを受けられなかった状況から、新規ケースを断ることなく受けることができました。また、複合的な問題を抱えるケースに対応するため重層的支援体制整備事業の会議にも参加をしました。

その他、育児をしながら働く相談員が安心して働けるよう在宅ワークも積極的に行えるよう協力しました。

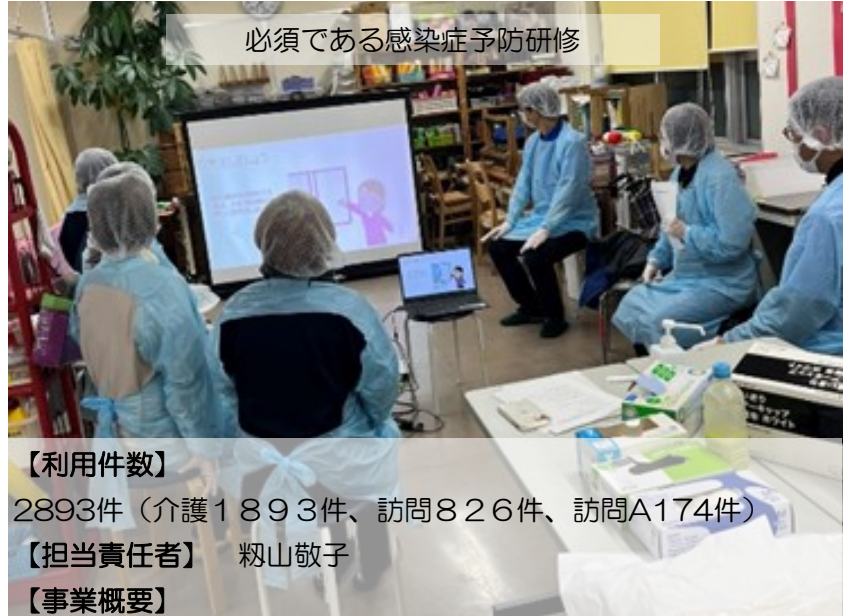
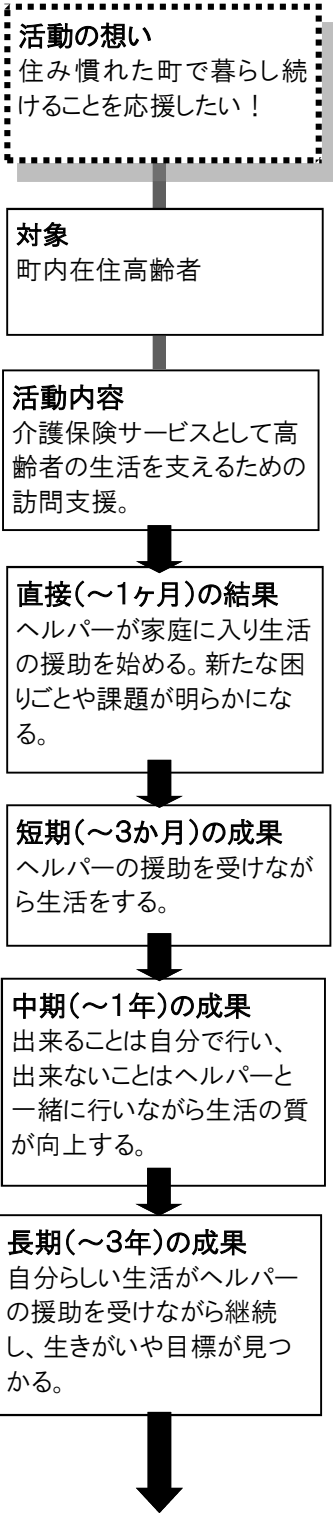
④ホームヘルプ事業

ゆめじろう訪問介護事業所

(介護保険訪問介護事業、介護予防訪問介護事業)



その人らしく寄り添いながら丁寧な介護!



【利用件数】
2893件(介護1893件、訪問826件、訪問A174件)

【担当責任者】 靱山敬子

【事業概要】

利用者さんの日常生活をお手伝いさせていただいています。住み慣れた自分の家(地域)で過ごしたいという利用者さんに寄り添い、生きていて良かったと思ってもらえる支援を心がけています。

【2025年度の目標】

新規受け入れを積極的に行っていきます。業務の効率化を図りながら必要時、迅速な対応に努めます。介護員のスキルアップの為、外部研修への積極的な参加体制を整えていきます。

【活動実績・得られた成果】

新規利用者の受け入れは、継続して行ってきましたが、日々複数回訪問していた利用者さんのご逝去や施設入所が重なり、収益は減収となりました。

その中でも利用者さん、一人ひとりの生活に寄り添い「今、私達にできる支援は何か」を常に考えながら、小さな変化にも気づける丁寧な支援を大切にしてきました。

今年度は新たな取り組みとして近隣施設で介護技術を学ぶ機会を設けたほか、ヘルパー自身が受けたい内容を取り入れた勉強会を行い、学びと交流の場を広げることができました。

月1回のサービス検討会では、利用者の様子や困りごとを共有し、より良い支援について話し合いを重ねています。また、ミニ研修では登録ヘルパーも進行役を担当することで、主体的な参加と理解を深めることにつながりました。

今後も安心できるサービスを続けていく為、人員育成と人員体制の安定が課題です。

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続ける社会の実現。

ゆめじろう居宅介護等事業所

(障害者総合支援法居宅介護等事業)



限りあるヘルパーサービスを優先順位を考え届けていきます！

活動の想い

障害のある人の社会参加や挑戦を寄り添って応援したい！

対象

町内在住(近隣町を含む)障害者

活動内容

自宅へヘルパーが訪問し、障害児・者の地域での生活を支えると同時に生活課題を明確にして課題解決のための支援を行う。

直接の結果

ヘルパーが家庭で生活の支援をしたり、社会参加支援を始める。

短期(~3か月)の成果

ヘルパーが家庭で、日々の生活支援に加え、課題解決のための支援を受け始める。

中期(~1年)の成果

継続した支援を受け続けていける。ヘルパーの支援を受けながら課題解決力・生活力が付く。

長期(~3年)の成果

自ら課題解決に向かっていく力が付く。また、必要とする支援を発信できるようになる。

ゆめじろうのミッション

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続ける社会の実現。



【利用件数】

【根拠事業】居宅介護等事業、行動援護、移動支援

【担当責任者】山本浩人

【活動概要】

個人のニーズに合わせ、マンツーマン対応で障害のある方の日常生活・余暇活動を支援しています。

【2025年度活動目標】

・引き続き、人材獲得に努めます。昨年度は出来なかったSNS活用も今年度は行います。

・行動援護対象者等、支援の難しい利用者さんに対し適切な支援が行えるよう、学びの機会を作ります。外部研修にも積極的に参加します。

・グループ支援の組み合わせや活動内容を検討していきます。

【活動内容・得られた成果】

・SNSの活用を始め、投稿を通してヘルパーという仕事の楽しさをお伝えしていきました。大きく人材の獲得につながったわけではありませんが、定期的に発信することで、ヘルパーやゆめじろうに関心を持ってもらうを増やしていければと考えています。新聞広告にヘルパー募集のチラシを入れてもらうことは定期的に行っています。今年は1名の募集がありました。

・ひるじろう(生活介護)やグループホームにて状態が悪くなった利用者さんに対し、行動援護を使って支援を行いました。そのため予定の収入より多くの実績となっています。このように、時には部署を超えて利用者さんを支えることが出来るのも、ヘルパーというサービスの強みです。

・サービスの質向上を目的とした外部研修への参加については、不十分と言わざるを得ません。土日に開催される研修が多いため、なかなか難しいところもありますが、時には現場よりも学びの機会を優先していくことで知識の習得に努めていきたいと思っています。

⑤ デイサービス事業

ひるじろう (生活介護)

活動の想い

どんなに重い障害があっても、その人らしい自己実現ができる活動や居場所が必要だ！

対象

町内在住(近隣町を含む)の重度障害者

活動内容

重度障害者に対し、それぞれの能力や意向に応じた日中の活動と居場所の提供を行う。

直接の結果

送迎等の支援を受けながら自分のペースでひるじろうに通い、活動に参加する。家族以外の人とのかかわりが始まる

短期(～3か月)の成果

活動に参加するうちに自分の強み弱みが分かってくる。得意な活動にはやりがいもてるようになる。

中期(～1年)の成果

得意な活動に磨きをかけ、やりがいを持って取り組めるだけでなく、息抜きもできるようになる。

長期(～3年)の成果

やりがいをもって行える活動を共に行う仲間ができひるじろうが大切な居場所となる。

ゆめじろうのミッション

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続けられる。



【利用定員】 10人 平均利用人数 7.4人/日

【担当責任者】 山田 慶

【活動概要】

町内及び近隣の障害者に対し日中のつどいの場・活動・仕事を提供し、自立と社会参加と自己実現を支援する。

【2025年度活動目標】

ひるじろう：・・・新規利用者1名増員

ひるじろうスペース全体を大きく模様替えを行います。利用者さん同士が過ごしやすい空間作りを目指します。ゆめじろう離れを活用して、カラオケや誕生日会などレクリエーションの時間も増やしていきたいです。

さをり織りの作品を外部へ販売していけるように、さをり織りを頑張っていきます。

【活動内容・得られた成果】

ひるじろうスペースを大きく模様替えを行いました。静かに過ごす場所・賑やかにわいわい過ごす場所の区切りをしっかりと行うことで、みんなが過ごしやすい環境になりました。模様替えをすることで、これまで実施を我慢してきたお誕生日会も行えるようになりました。

外出が好きな利用者さんが多いので、お楽しみ会で外食をしたり、お茶をしに出かけたりしました。気候の良い時期には、散歩にでかけたりしています。

また、年間を通じて活動の様子をInstagramで発信を行いました。



自分らしい毎日を！



ひるじろう (就労継続支援B型)

活動の想い

障害のある人の「仕事がしたい」「社会の役に立ちたい」という思いを応援したい！

対象

町内在住(近隣町を含む)の仕事をしたい障害者。仕事ができる可能性があるのに十分に力を発揮できていない障害者。

活動内容

障害者に対し、仕事を通じて社会参加・社会貢献をする場の提供を行うと共に、それに対し工賃を支払う。

直接の結果

ひるじろうへ通い、コロッケ作り・販売、整備事業など自分に合った仕事に取り組む。

短期(~3か月)の成果

ひるじろうに慣れ、仕事をしながらの生活リズムができる。

中期(~1年)の成果

お金に関心が持てるようになる。目標工賃23,000円/月の達成

長期(~3年)の成果

工賃だけでなく、仕事そのものにもやりがいや誇りが持てるようになる。目標工賃25,000円/月の達成

ゆめじろうのミッション

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続ける社会の実現。



【利用定員】 10人 平均利用人数 5.3人/日

【担当責任者】 楯貫浩美

【活動概要】

町内及び近隣の障害者に対し、日中の活動・仕事を提供し、自立と社会参加と自己実現の支援を行う。

【2025年度の目標】

総勢7名(うち1名は長期休み中)で迎えた2025年度は利用者増のため、活動を2つのグループに分けることによって、きめ細かい支援のもと、5月より始まる近隣の歯科医院よりいただいたタオル洗い作業やコロッケの製造販売、整備作業、内職作業等工賃アップにつながるようみんなで頑張っていきます。お楽しみ会での外出や季節の行事の開催も行っていく予定です。

【活動実績・得られた成果】

前年度に続き工賃向上研修に参加し工賃の計算法等を学び工賃改定を行うことができました。

新商品としてサーターアンダギーとコロッケバーガー、を不定期ではありますが販売開始しました。

2025年5月から始まった近隣歯科さんからいただくタオル洗濯の仕事では年間24万円ほどの売上を得ることができ工賃アップに繋げることができました。

またコロッケカーの塗装ラッピング工事にてリニューアルしました。

厨房内の床塗装(諸般の事情により塗料の入手が困難になり工事日程は未定)や大型冷凍庫などの設備も発注することができた一年でした。(2026夏頃納入)。

さてみよう 新しい発見！

⑥福祉移送ボランティア事業

- 【根拠事業】 自主事業 【担当責任者】 山本浩人
【事業概要】 緊急的に必要または、やむを得ない場合の車による移送。
【事業実績】 緊急やむを得ない場合において法人判断で無償で実施しました。

⑦次世代育成事業（子育て支援事業）

既存の子育て支援施策で仕組みが整ってきており、ゆめじろうとしては未実施。

⑧高齢者障害者に対する社会参加促進事業

喫茶「ゆめひろば」

直接の成果

町民がゆめひろばを利用し、食事やお茶を飲みながら話をする。



長期成果

町民会館に、食事をしたりお茶を飲みながら仲間との交流や出会いの場が確保される。

- 【根拠事業】 自主事業
【担当責任者】 木村智子
【事業概要】

SNS等を使って新規のお客様を呼び込みたい。

土日営業する日を大々的にアピールする。

【2025年度の目標】

町民会館イベントへの参加、春の音楽祭での飲食物の提供をする。

SNS等を使って新規のお客様を呼び込みたい。土日営業する日を大々的にアピールする。

【活動実績・得られた成果】

町民会館のイベントで特別メニューを提供しました。

特別メニューが完成するまでスタッフ総出で調理等を行いました。

チームワークが築けていると改めて実感しました。

就労継続支援B

P12を参照 ひるじろうの活動の中で紹介。

フリースペース事業

【事業概要】

事業所のいろいろなスペースを利用して、地域の方が立ち寄り、ボランティアとして参加いただいたりする事業を提供しています。「こんな事ができるといいなあ。」や「こんなことで困っている。」「このくらいの手伝いはできるわよ。」などの声を大切にいろいろな活動を少しずつ行っています。

ゆめじろう茶屋 自主事業

活動の想い

地域で孤立することがないように住民同士のつながりを大切にする居場所を作りたい！

対象
町民

活動内容

地域住民が気軽に集える場所と活動の提供をする。

直接の結果

地域住民が日常的に茶屋に集い活動に参加する。

短期の成果

茶屋に集う者同士の交流が生まれ、新たな関係ができる。

長期の成果

茶屋を活用して地域住民の支えあいの活動が展開される。

ゆめじろうのミッション

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続ける社会の実現。



【担当責任者】 西川百合

【事業概要】

年齢・性別・国籍問わず気軽に参加しています。情報交換や物々交換、新しいつながりなど「つどい・つながる」場所です。

【2025年度の目標】

継続的な開催を目標とし、参加者自らが自主的な活動として位置付けることで、やりがいをもち、社会参加ができる場としての役割をもっていきたいと思います。また、会話の中から地域課題の把握にも努め、必要に応じて関係機関への情報提供や必要な対応に努めていきます。

【活動実績・得られた成果】

武豊町社会福祉協議会の「通いの場・つどいの場事業助成」を申請し、令和7年度の会場使用料等に活用しました。今年度も申請を済ませています。

地域の方が月2回集い、地域の情報交換や暮らしの中の困りごとや悩み事に共感しあい、交流の中から解決方法を知る機会になったり、生活の中での情報や加齢に伴う制度利用のことなど話題はつきず過ごしています。予定があることや顔なじみの方らとの交流は、介護予防の場にもなっています。

今年度より活動の場をゆめじろうはなれに移して実施しています。

⑨地域福祉啓発・研修事業

【根拠事業】 自主事業

【担当責任者】 出口 晋

【事業概要】

高齢者福祉および障害者福祉にかかわらず地域福祉に関わる活動やイベント等を開催しています。フードバンクちたの他、ゆめじろうくん（着ぐるみ）やコロツケカーによる地域イベントへの参加などを行います。

ゆめじろうくん・コロツケカーの出動（自主事業）

【根拠事業】 自主事業

【担当責任者】 楯貫浩美

【事業概要】

啓発活動の一環としてキッチンカーの出動やゆめじろうくんがイベントに参加したりしています。

【2025年度の目標】

地域の活動を盛り上げるため、依頼に応じ可能な限り体制を整え協力を行っていく。結果としてゆめじろうの認知度を高めるだけでなく地域との協力・連携関係を強固なものとしていく。

【活動内容・得られた成果】

本年度も13回のコロツケカーの出動がありました。昨年度に続き富貴祭礼や長尾祭礼(武雄神社にて)への出店、ゆめプラ芝生フェスタ、大足区祭礼、ゆめじろうグループホームのある緑区フェスタ、えびせんパークで開催したおたから博（初）、ひだまりの郷（初）わっぱ祭り、など地域を盛り上げるためのイベントに駆け付けました。



新装！じろちゃんコロツケ キッチンカー

フードバンクプロジェクト（自主事業）

【根拠事業】 自主事業

【担当責任者】 地域啓発委員会

【事業概要】

セカンドハーベスト名古屋、サポートちた、日本福祉大学、常滑市社会福祉協議会と協力し、大規模ショッピングセンターや食品会社などからまだ食べられるのに捨てられてしまう食品をもらい受け、生活困窮者など必要としている人たちに届ける活動です。

【2025年度の目標】

食料品を必要とする家族・個人・団体への食品支援を継続的に行いつつ支援関係の維持を行っていく。また、フードバンクの仕組みが維持していけるよう、分配品の余りをスタッフの協力購入で資金の捻出をしつつセカンドハーベスト名古屋の活動費に寄付金と食品の受け取りに係る作業費の委託（ひるじろう生活介護の工賃）へ当てつつ維持を行っていく。

【事業内容・得られた成果】

本年度も食糧支援を必要とする家族や団体に対して週に1回（木曜日）ペースで食糧支援を行いました。また、年に一回のカープスフードドライブからの食品の分配と明治製菓からのお菓子の提供を受け地域で子どもを対象とした活動を実施している団体へお菓子の提供を行いました。



カープス ドン・キホーテ武豊の皆さんと

⑩短期介護事業（ショートステイ）事業

【根拠事業】 自主事業・地域生活支援拠点（体験的宿泊・緊急一時的宿泊）

【担当責任者】 山本浩人

【事業概要】

本人及び家族の緊急時の宿泊支援及び将来へ向けての宿泊体験の場と機会の提供を行う。

【2025年度の目標】

多くのニーズがあることはわかっていますが、宿泊の体制（スタッフ確保）に課題があります。お一人でも多くのニーズにお応えするために、各部署と連携して検討していきます。また、ゆめじろう内の「地域生活支援拠点運営委員会」の会議を定期的に行い、事業の計画を検討していきます。また、緊急時の体制についてもスピーディーに検討・対応出来るようにしていきます。

【活動内容・得られた成果】

基幹相談支援センター、ひるじろう（生活介護・就労継続支援B型）、いえじろう（共同生活援助）、ヘルパー（居宅介護等）が連携して、地域生活支援拠点として、随時利用者さんの希望を募る形で実施しました。スタッフ体制確保が出来、宿泊場所が確保できるところで利用者さんに呼びかけを行う形となっています。

2025年度の実績は上記の通りです。体験的宿泊においては、前年度の2倍の人数となっています。そのうち、新規利用者が6名ありました。

こちらでの体験を積み上げ、2026年度からグループホームに入居を決められた方が2名いらっしゃいます。ご自身の新たな生活スタイルを決められたことのお役に立てて、本当に嬉しく思います。



「緊急時に備える」
「将来へ向けて自分の生活スタイルを検討する」

⑪障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

居住サポートいえじろう（共同生活援助）

活動の想い

障害のある人の親から離れて暮らす挑戦を応援したい！

対象

町内在住の障害者

活動内容

障害者のための家庭的で社会とのつながりのある住まいの提供。

直接の結果

グループホームでの生活を始めるとともに地域行事への参加、ボランティアの方との交流会に参加し始める。

短期（～3か月）の成果

グループホームでの生活に慣れ、地域の方やボランティアの方との交流にも慣れる。

中期（～1年）の成果

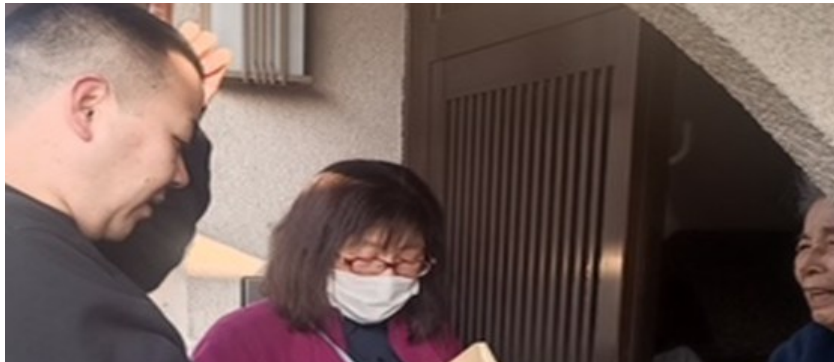
グループホームを利用する日が増え、ボランティアの方と一緒に過ごすことができる。

長期（～3年）の成果

安定した生活をグループホームで送る。地域の方に存在を知ってもらう。ボランティアの方と一緒に外出ができる。

ゆめじろうのミッション

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続ける社会の実現。



【根拠事業】共同生活援助 定員8人

【担当責任者】 出口佳江

【活動概要】

利用者さんが「ただいまー」と安心して帰宅できるお家です。障害のある方が地域の中で自分らしく生活が送られるようサポートしています。

【2024年度の目標】

- ・引き続き利用者さんが安心して帰ってこられる雰囲気づくりをしていきます。
- ・グループ支援などを利用しながら地域へ積極的に出かけていき、社会参加や楽しい経験を沢山していきます。
- ・ホーム内では自分の役割（手伝いなど）を持ち、自分で出来ることはどんどんやってもらいたいと思います。
- ・引き続き体験的宿泊・緊急一時的宿泊の利用を増やし、グループホームで生活するイメージを感じて頂きます。
- ・新しいスタッフが入ったことで勉強会や外部研修のお誘い、チームでの支援体制構築をしていきます。
- ・地域連携推進会議を開催し、地域の方や利用者さん家族との連携をはかり、地域の人にもホームのことをよく知って頂きます。

【活動内容・得られた成果】

1月に地域連携推進会議を開催し、地域の方々にホームのことを知って頂きました。実際にお話しする中で地域とのつながりの大切さを改めて感じました。

引き続きヘルパー部署と連携し、休日のグループ支援やヘルパー支援を充実させました。カラオケやお祭りなど本人の好きなことを楽しみました。ホームからもピクニックや花見、地域のイベントにも参加しました。

1月から組長を務めさせて頂く事になりました。広報配りや集金などを通じ近所の方と声を掛け合えるような関係づくりを心がけていきたいと思います。

地域生活支援拠点の利用は定期的に行い、グループホームで生活することのイメージを持って頂きました。緊急一時的宿泊を行いました。



「ただいま」と安心して帰る場所。ホッと出来る居場所。

「明日もがんばろう」と思える場所。